(部分·責任)実習 指 導 計 画

ディスタンスのある遊び

実習指導者

(FJ)

場

実習

実習生	氏名				P
所		遊戲室			
(5)歳児	(さくら)組

(鬼ごっこ ねことねずみ) (題材) クラス 幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を ・鬼にわざと近づく子や鬼から常に距離を保っ のなどがない。 ・ルールのある遊び (鬼ごっこ) を楽しむ。 ・みんなで一緒に鬼ごっこをすることに意欲を もって取り組み楽しむ。

20×× 年 〇 月 〇 日 (△)

主な活動

男児(12)名 女児(12)名 計(24)名

多面的に捉えて書く)	ている子が見られ	oasu	0 5 C/W / MELY / MC 0 0 0		
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮		
10:00 (導入)	〈集合〉園庭 〈活動の説明〉 「準備運動」 子ども ◎ 保育者	・保育者の呼びかけでカラー帽子をか ぶって集合する。素早く集合する子 とのんびりと集合する子がいる。 ・保育者の説明を座って落ち着いて聞 くことができる。 ・保育者の動きを真似て準備運動を行 う。	・子どもたちに聞こえるように、大きな声ではっきりと呼びかけを行い、集合を促す。 ・2列横隊で子どもたちを座らせ、一人ひとりと目を合わせ、表情から健康状態を把握しながら、これから行う活動の説明を簡単に行う。 ・両手を広げて「グルット回り」、前後左右の友達にぶつからないよう十分な距離と間隔を確保するように促す。 ・下肢を中心に(膝の屈伸・伸脚・アキレス腱伸ばし等)準備運動を行う。		
10:10 (主活動) ※サブシー ト参照	〈ねことねずみ〉 ねこ ねずみ 安全地帯 (®育者	・「ねことねずみ」の約束やルールを座って落ち着いて聞くことができる。 ・「ねこチーム」と「ねずみチーム」に分かれることから、友達と2人組をつくり、記し合ったりジャンケンをしたりして、どちらのチームにするかかぶる帽子の色を決める。 ・グルーブごとに引かれたラインの上に、帽子の色ごとに分かれて向き合って立つ。 ・お互いのチームが向き合っていることから、ワクワクしている子や緊張している子がいる。 ・集中してリーダーの声を聞き、一生懸命になって対している」を問違ってしまい、衝突しそうになる子がいる。	・「ねことねずみ」のルールを伝える。 ルール ①「ねこチーム」と「ねずみチーム」に分かれ てラインの上で向かい合って立つ。 ②リーダー役を決める(今回は保育者)。 ③リーダーがどちらかのチーム名を伝える。 ④呼ばれたチームが呼ばれていないチームを追 いかけて、安全地帯にはいる前にタッチする。 ⑤安全地帯にはいる前にタッチされた子は相手 チームに加わる。 ※繰り返し行う。 ・注意事項としてみんなに伝える。 ①追いかける・逃げるを間違うと衝突の危険が あるので、間違えないように注意する。 ②追いかけてタッチするときは、強く押しすぎ て転倒させないように注意する。 ③安全地帯から先は追いかけない。		
10:25 (まとめ)	〈集合〉 「保育室への移動」 「汗拭き・手洗い・うがい」	・保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 ・活動について話し合う。 ・またやってみたいという期待感をもつ。 ・保育室へもどり、汗拭き・手洗い・うがいをする。	・大きな声ではっきりと呼びかけを行い、集合を促す。 ・活動のポイントや約束を守れていた子どもたちを称賛し自信をもたせる。 ・楽しかったことや上手にできたこと、難しかったこと等を話し合い、必要に応じて助言する。 ・活動後は汗を拭き、手洗い、うがいを必ず行うことを伝え、保育室へ移動。		
10.30			/CCCMAC MH ± 1980		
1	活動というではフロナの主体しと特定は終まり四小路と柳田ようしとはしている				

・活動を始める前に子どもの表情から健康状態や心理状態を把握するようにしている。

自己振り返 り・評価等

・安全に配慮した環境構成を工夫している。 ・常に子どもたちが自分の視野にはいる立ち位置を心がけ、行動を把握し、安全の確保を図っている。 ・活動後には「汗拭き・手洗い・うがい」をするように伝え、衛生面の習慣づくりにつなげていくようにし ている。